

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	群馬県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	前橋市立敷島小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	2	14	22
児童数	53	56	66	64	72	62	6	379	

研究の概要

1. 研究主題

基礎・基本を身に付け、自ら学び自ら考える児童の育成 教科担任制などを取り入れた協力的な指導体制の工夫

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<p>1、2年生・生活科、学級活動(学習ボランティア) 一人一人の児童に即して、きめ細かで豊かな体験を支援できるため。</p> <p>1、2年生・算数(高学年教師とのTT指導) 操作活動など、個に応じてきめ細かな指導が可能となり、基礎基本の確実な定着が期待できるため。</p> <p>3年生・算数(少人数担当とのTT指導) 子どもの理解度に差が出やすい教科や学年であるため、きめ細かな指導で基礎基本の確実な定着を支援できるようにするため。</p> <p>3、4年生・総合(低学年教師とのTT指導) 自然体験や社会体験など、主体的で多様な活動を多面的に支援するため。</p> <p>4、5、6年生・算数(少人数指導) 学習内容の習熟の程度や興味・関心に基づく課題選択による小集団学習が可能のため。</p> <p>5、6年生(国語を除く教科担任制) 教師の専門性や得意分野を生かし、深い教材研究と多様な活動への対応力で、個に応じた指導の充実が可能。</p> <p>5、6年生・総合(専科教師とのTT指導) 自然体験や社会体験など、主体的で多様な活動を多面的に支援するため。</p>
--

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 基礎・基本を身に付け、自ら学び自ら考える児童の育成 ～教科担任制を取り入れた指導体制の工夫～</p> <p>研究の見通し 教育ボランティアや少人数指導、教科担任制などの協力的な指導体制を工夫して個に応じたきめ細かな指導をすれば、児童一人一人が基礎的・基本的な内容を確実に身に付け、「確かな学力」の向上が図れるであろう。</p> <p>研究内容・方法</p> <p><内容> ・保護者やゲストティーチャーを招いた学習指導を取り入れたり、少人数学習集団による指導や教科担任制による指導を積極的に試行したりして、習熟度別指導、課題別学習指導、発展的な学習の指導、興味・関心を重視した指導などを創意工夫することにより、基礎的・基本的な教育内容の確実な定着と、個性を生かす教育の推進によるきめ細かで個に応じた積極的な指導の展開を図っていく。</p> <p><方法>協同的な指導体制の工夫 低学年における教育ボランティアの取り組み ・ゲストティーチャーや保護者など多くの人との関わりによる教育ボランティアを積</p>
--------	---

極的に行えば、児童一人一人の豊かな体験活動や学習活動をきめ細かく支援することが可能となるであろう。

中学年におけるチーム・ティーチングの取り組み

- ・児童の発達段階や実態を考慮して、つまずきや見落とし等理解に格差が生じやすい時期の児童に、担任と指導担当で協力してきめ細かな支援にあたられば、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図れるであろう。

中学年・高学年における少人数指導の取り組み

- ・習熟の程度や興味・関心に基づく課題に応じた少人数指導を行えば、児童一人一人の学習意欲の向上を図り、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図れるであろう。
- ・少人数編成による自己コース選択を積み重ねていけば、自己を客観的に評価する目が育ち、個性を伸ばす自己評価力の育成につながるだろう。

高学年による教科担任制の試行

- ・教師の専門性を生かすことにより、教材研究が一層充実し、各教科における基礎的・基本的な内容を確実に身に付けるための具体的な指導方法が工夫できるであろう。
- ・複数の教師による多面的な評価を生かしたきめ細かな指導が可能となり、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図れるであろう。

平成15年度

テーマ 基礎・基本を身に付け、自ら学び自ら考える児童の育成
～教科担任制などを取り入れた協力的な指導体制の工夫～

研究の見通し

学習ボランティアや少人数指導、教科担任制などの協力的な指導体制を工夫して個に応じたきめ細かな指導をすれば、児童一人一人が基礎的・基本的な内容を確実に身に付け、「確かな学力」の向上が図れるであろう。

研究内容・方法

<内容>

- ・学習ボランティアやゲストティーチャーを招いた協力的な指導を取り入れたり、少人数指導や教科担任制による指導などを工夫したりして、習熟度別指導、課題別指導、発展的な学習の指導、興味・関心を重視した指導などを創意工夫することにより、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と、個性を生かす教育の推進によるきめ細かで個に応じた積極的な指導の展開を図っていく。

<方法>協同的な指導体制の工夫

低学年における学習ボランティアの取り組み

- ・ゲストティーチャーや地域の専門家・保護者など、多くの人との関わりによる学習ボランティアを積極的に行えば、児童一人一人の豊かな体験活動や学習活動をきめ細かく支援することが可能となるであろう。

中学年におけるチーム・ティーチングの取り組み

- ・児童の発達段階や実態を考慮して、つまずきや見落とし等理解に格差が生じやすい時期の児童に、担任と教科担当で協力してきめ細かな支援にあたられば、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図れるであろう。

中学年・高学年における少人数指導の取り組み

- ・習熟の程度や興味・関心に基づく課題に応じた少人数指導を行えば、児童一人一人の学習意欲の向上を図り、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図れるであろう。
- ・少人数編成による自己コース選択を積み重ねていけば、自己を客観的に評価する力が育ち、自己評価力の育成につながるだろう。

高学年による教科担任制の試行

- ・教師の専門性を生かすことにより、教材研究が一層充実し、各教科における基礎的・基本的な内容を確実に身に付けるための具体的な指導方法が工夫できるであろう。
- ・複数の教師による多面的な評価を生かした積極的な児童理解が可能となり、児童一人一人に応じた指導の充実が図れるであろう。

平成16年度

テーマ 基礎・基本を身に付け、自ら学び自ら考える児童の育成
～教科担任制などを取り入れた協力的な指導体制の工夫～

研究の見通し

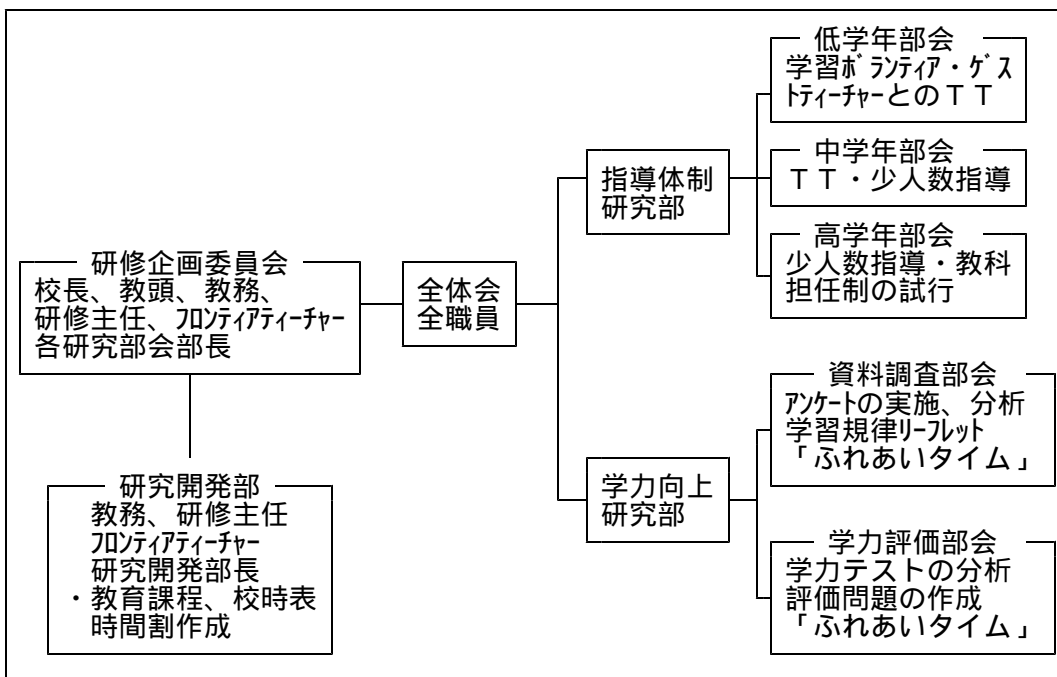
学習ボランティアや少人数指導、教科担任制などの協力的な指導体制を工夫して個に応じたきめ細かな指導をすれば、児童一人一人が基礎的・基本的な内容を確実に身に付け、「確かな学力」の向上が図れるであろう。

研究内容・方法

<内容>

- ・学習ボランティアやゲストティーチャーを招いた協力的な指導を取り入れたり、少人数指導や教科担任制による指導などを工夫したりして、習熟度別指導、課題別指導、発展的な学習の指導、興味・関心を重視した指導などを創意工夫することにより、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と、個性を生かす教育の推進によるきめ細かで個に応じた積極的な指導の展開を図っていく。
- <方法>協同的な指導体制の工夫
 - 低学年における学習ボランティアの取り組み
 - ・ゲストティーチャーや地域の専門家・保護者など、多くの人との関わりによる学習ボランティアを積極的に行えば、児童一人一人の豊かな体験活動や学習活動をきめ細かく支援することが可能となるであろう。
 - 中学年におけるチーム・ティーチングの取り組み
 - ・児童の発達段階や実態を考慮して、つまづきや見落とし等理解に格差が生じやすい時期の児童に、担任と教科担当で協力してきめ細かな支援にあたられば、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図れるであろう。
 - 中学年・高学年における少人数指導の取り組み
 - ・習熟の程度や興味・関心に基づく課題に応じた少人数指導を行えば、児童一人一人の学習意欲の向上を図り、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図れるであろう。
 - ・少人数編成による自己コース選択を積み重ねていけば、自己を客観的に評価する力が育ち、自己評価力の育成につながるだろう。
- 高学年による教科担任制の試行
 - ・教師の専門性を生かすことにより、教材研究が一層充実し、各教科における基礎的・基本的な内容を確実に身に付けるための具体的な指導方法が工夫できるであろう。
 - ・複数の教師による多面的な評価を生かした積極的な児童理解が可能となり、児童一人一人に応じた指導の充実が図れるであろう。

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

成果

- ・児童一人一人に基礎的・基本的な内容を確実に定着させ、主体的に学ぶ児童の育成を目指して、個に応じた学習指導の充実を図る観点から、協力的な指導体制の在り方を研究してきた。学習ボランティアやG T(ゲストティーチャー)とのT T(ティー・ティー)、全校体制による教師同士のT T、算数科におけるT T指導や習熟度別の少人数指導、高学年の教科担任制など実践的研究を通して、児童の興味・関心を高め、学習意欲の向上を図り、個に応じたきめ細かな指導に取り組んできた。

学力テストの分析データ
 T T指導の例(4年算数：3年時のT T指導と2年時の担任指導との比較)
 数値は、全国の得点率の平均を100としたときの、本校の得点率を表す。

	総合	前年比	関心	前年比	思考	前年比	表処	前年比	知理	前年比
3年	100	/	96	/	101	/	98	/	102	/
4年	103	3	98	2	109	7	100	2	103	0

教科担任制の例(6年理科：4年時の担任指導と5年時の理科専科指導の比較)

	総合	前年比	関心	前年比	思考	前年比	表処	前年比	知理	前年比
5年	95	/	111	/	95	/	102	/	88	/
6年	109	14	104	-7	105	11	106	4	115	27

2. 今後の課題

少人数指導、教科担任制、T T等の指導体制では、複数の教師による情報の共有化、共通理解がとて重要になる。児童理解、教材研究、学習進度など、共通理解を十分に図れるような時間や場の確保が課題である。

児童の発達段階、教科の特性、教職員の専門性、家庭・地域の実態などを踏まえ、本校目指す児童像にせまるために、どのような協力的な指導体制が可能なか考えていく必要がある。また、指導体制を整えるだけでなく、指導法の工夫、授業改善を目指し児童に生きる本質的な研修を推進していくことが重要である。

学力等把握のための学校としての取組

教研式標準学力検査(CRT)

- ・2年生から6年生までの全児童を対象(2・3年は国・数、4年以上は国・社・算・理)
- ・4月下旬に実施(夏季休業中に、自作ソフトで分析・考察)
- ・個や学級集団に応じて、学習指導に生かし、基礎学力の向上を目指す

指導体制の工夫に関わる保護者、児童の意識調査(4月下旬に実施)

- ・1年(ゲストティーチャー・ティー・ティー、保護者)・3年(ティー・ティー、保護者)
- ・4年(少人数指導、保護者・児童)・5年(教科担任制、保護者・児童)

三中地区の生活・学習アンケート(1学期中に実施、全校児童・保護者)

- ・家庭・地域への啓発活動(リフレット)に生かし、より良い学習や生活環境づくり

